

優良賞

厚沢部町立厚沢部中学校 2学年 なかがわ 中川 こはな 心花
私の夢



みなさんには夢がありますか。夢がある人もいれば、ない人もいるでしょう。夢と聞いて、みなさんはどんなことを連想しますか。私は、夢には色々な種類があると思います。例えば、「好きな物をたくさん食べたい」、「バンジージャンプを飛んでみたい」、「宝くじを当ててみたい」というのも人によっては、夢の一つでしょう。でも、これらは本当に夢といえるのでしょうか。私にとってこれらは、夢とは言いがたいのです。私が思い描く夢は、その夢を達成するために自分が、工夫や努力、そして強い志が必要とされているいわば目標です。例えば、「弁護士になりたい」、「英語検定3級に合格したい」などが私にとっての夢にあたります。それを夢と呼ぶのならば、今、私には夢がありません。

保育園児だった頃は、戦隊モノのヒーローになりたいと思っていました。みんなを最終的に、笑顔にさせるヒーローがカッコよくて、自分もこんな風になりたいと思ったからです。ヒーローをあきらめたのは、実際にはいないということがわかったからです。小学校低学年の時は、食レポがしたいのと、自分が発信する情報を色々な人に聞いてほしいという理由でアナウンサーになりたいと思ったこともあります。これも、滑舌が悪いという理由であきらめてしまいました。小学校高学年になると私は、二つの夢を持ちました。一つは、アニメの脚本家です。自分がもともとアニメが好きということと、アニメで感じた、面白さと感動、切なさやほっこりするような気持ちを一つの物語にして、自分が作る世界観をストーリーを通して、感じさせたいと思ったからでした。もう一つは、女性初の内閣総理大臣です。なぜなら、女性初の内閣総理大臣になって、女性がもっと活躍できることを行動で示してみたかったからです。あきらめてしまったのは、誰かにうまく伝える力も、一人で決断することもできない自分には「無理」だと思ったからです。

今までの私の夢は、全てあきらめてしまっていました。それは、「またすぐに新しい夢を見つけるだろう」と本気で考えていなかったからかもしれません。また、当時の自分には、まだ世の中のことがわからなかったのだと思います。

でも私は、夢を持つことは必要だと思います。夢を持つことによって、その夢が叶うように人は努力をします。私もそうです。今、私は、大きな夢はありませんが、小さな夢、目標があります。それは、「私の周りの友達や地域のみなさんが私の行動により、明るく、笑顔になれるようにする」ということです。今私は生徒会執行部の一人です。厚沢部中学校の伝統である立ち止まり礼や挨拶を地域でも率先して行うように努力しています。小さな努力かもしれませんが、得るものもあります。地域の人との交流が深まり、また、私も笑顔をもらっています。私は、厚沢部に住む人達が笑顔になれるようなことをしていきたいです。

「努力は、人生を充実させるものです。たとえ、その夢が叶わなくても夢に向かって努力したことは、決して、無駄にならず、きっと将来の役に立つのです。」

だから、今は、大きな夢がなくても色んなものを見たり、聞いたりして、知識を深め、努力を忘れず生きていきたい。私は、そう思います。

夢は、必ず見つかると思っています。